

仕合わせの和

第207号
令和元年. 6. 1
(毎月1日発行)

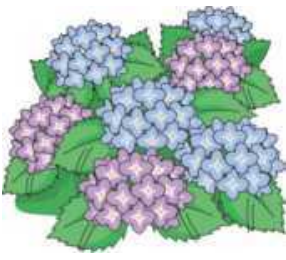
ろっこん 六根

住職 谷川寛俊

このところ異常気象が続いていま
す。先月の終わり頃には、北海道で
三十九度に達するという五月として
は最高記録を更新したといえます。
ますます地球温暖化が進んできてい
るのでしょいか？普段私達は何を
見て、何を感じることで季節の
変化を感じるのでしょいか。単に
気温の寒暖だけでなく草や木、
生物といった周囲の変化を感じて
四季の訪れを感じる人が多いの
ではないかと思えます。パソコン
や携帯電話で何でも出来るしま
う昨今、家の中にいて、操作す
るだけで、何でも出来るしま
うという大変便利すぎる世の中
になりました。そうすると出掛ける
ことが少なくなってくるかもしれ
ません。それでは四季を感じる
ことがなくなってしまう、周囲
の環境や人に目が向かなくな
ってしま、人間の一番大切な
心の目が機械化されて、意思の疎
通が通わなくなる時代が来る
かもしれせん。いや、

もう既に始まっていると言っても過
言ではありません。私達人間は六
根（眼・耳・鼻・舌・身・意）を持
っていて、この六根を通じて行動
しています。つまり眼で見て、耳
で聞き、鼻で匂いを感じ、舌で
違いを分けて、言葉として表
現します。それら全てを合
せて意（こころ）にまとめて行
動に移しています。良いことも
悪いことも、この六根を通じて
感じるものなのです。法華経
法師功德品第十九には、法華
経を受持し、読み解き、書写
する人はその行いによって多
くの功德を得る事が出来、こ
の功德によって六根が綺麗に
なりと説かれています。そして
この六根が綺麗になると、
眼：正しく物事を見る力。
耳：正しく音、声を聞き分け
る力。
鼻：色々なものを嗅ぎ分け
る力。
舌：美味しく食事を頂く事
ができる。正しい言葉が
話せる事ができる。身：清
らかな身となり、人のために
役に立つことができる。意：清
らかな心を持つことができる。
更に六根は一般的にいわれる五
臓（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）
に当たるが、この感覚は色
んな事を感じることで成長し
ていきます。四季を感じ、周
囲を感じ、人を感

致しましょう。伸びていく。花や草木が根を通じて色んな栄養を吸収するのと同じく、私達人間も六つの根を通じて良いことも、悪いことも感じながら、それを栄養として吸収し成長していくのです。ですから、六根を清浄にするため、私達には『南無妙法蓮華経』のお題目があります。お題目を受持し、読み解き、書写する人は、六根が清浄になるのです。日々の中で常に人や物、自然と接しているからこそ、六根を通じて良いことも悪いことも吸収し成長していくのが人間なのです。六根が清浄でありますよう、毎日毎日お題目を受持しお唱え致しましょう。



真成寺ホームページ
<https://bit.ly/2Gz55Mz>
編集・発行 玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268
携帯 080-3744-2523
こちらの番号でもお寺につながります。



アンケート調査で、皆様からの声が多かったのが「駐車場」に関する件。案内図も準備中です。駐車場のご心配なく、ご来寺下さい。

